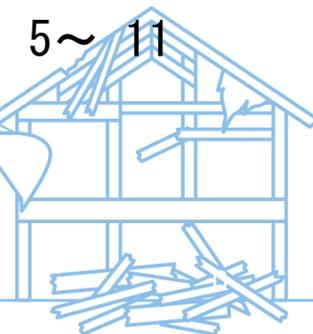


特定廃棄物埋立処分事業の 状況等について

1. 特定廃棄物埋立処分施設の状況について _____ p. 1～ 4
2. 生活ごみ（不燃物）の輸送・埋立処分について _____ p. 5～ 11



1. 特定廃棄物埋立処分施設の状況について

- 特定廃棄物の埋立処分は、令和5年10月末で終了。
- 令和5年11月以降の4年間は、双葉郡8町村の生活ごみを埋立処分。
- 搬入した生活ごみは、令和6年5月より、施設内に設置した詰替施設において、地盤改良用収納容器に封入後、上流側区画において埋立処分を開始。
- 下流側区画（上流側区画の一部を含む。）では最終覆土を施工中。

・埋立廃棄物（袋数）

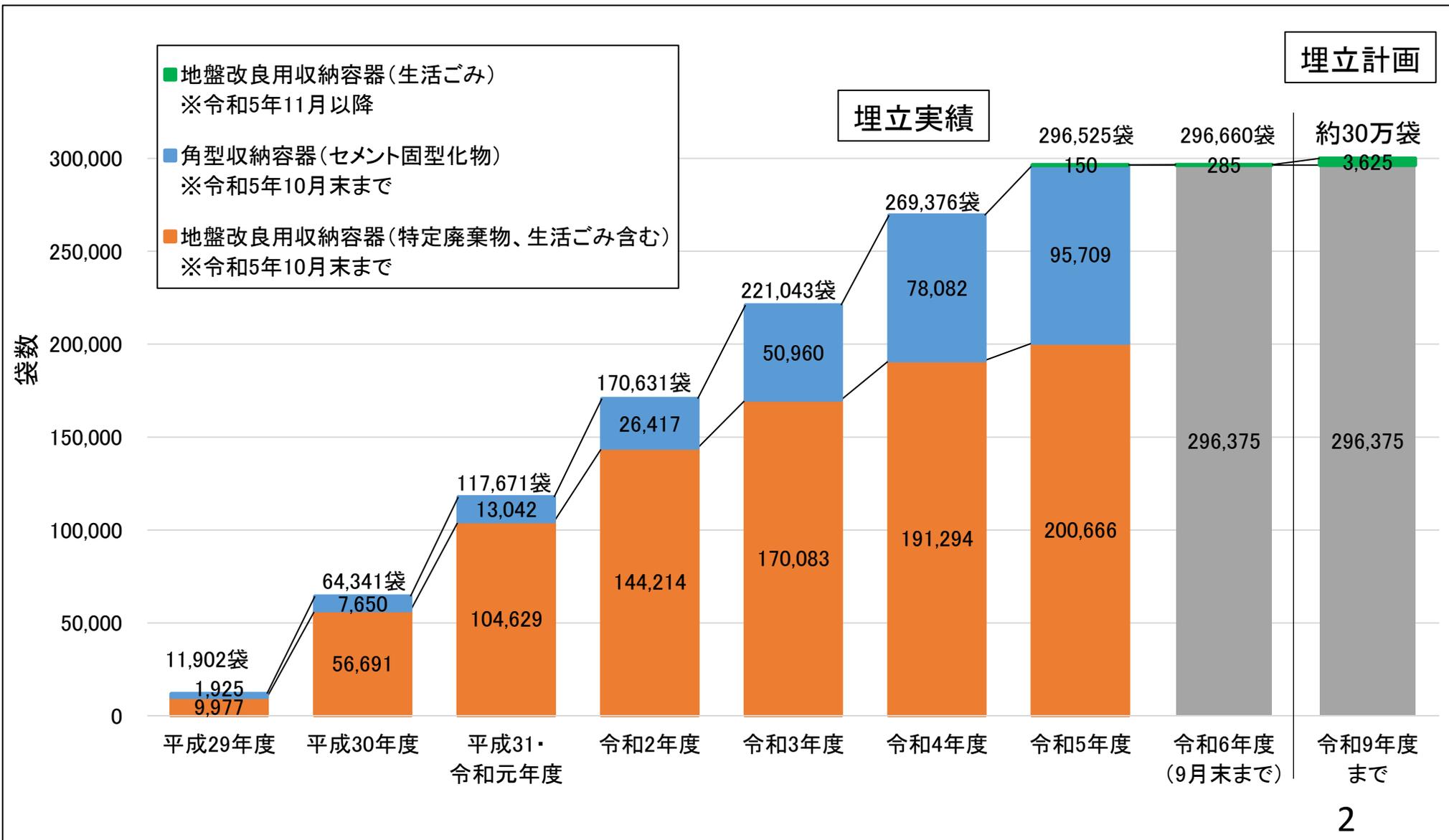
期間	特定廃棄物等の埋立							生活ごみの埋立	
	平成29年度 (11月～)	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 4月～10月	令和5年度 11月～3月	令和6年4月 ～9月末
実績 (袋数)	11,902	52,439	53,330	52,960	50,412	48,333	26,999	150	135
累計	11,902	64,341	117,671	170,631	221,043	269,376	296,375	296,525	296,660

・輸送車両延べ台数

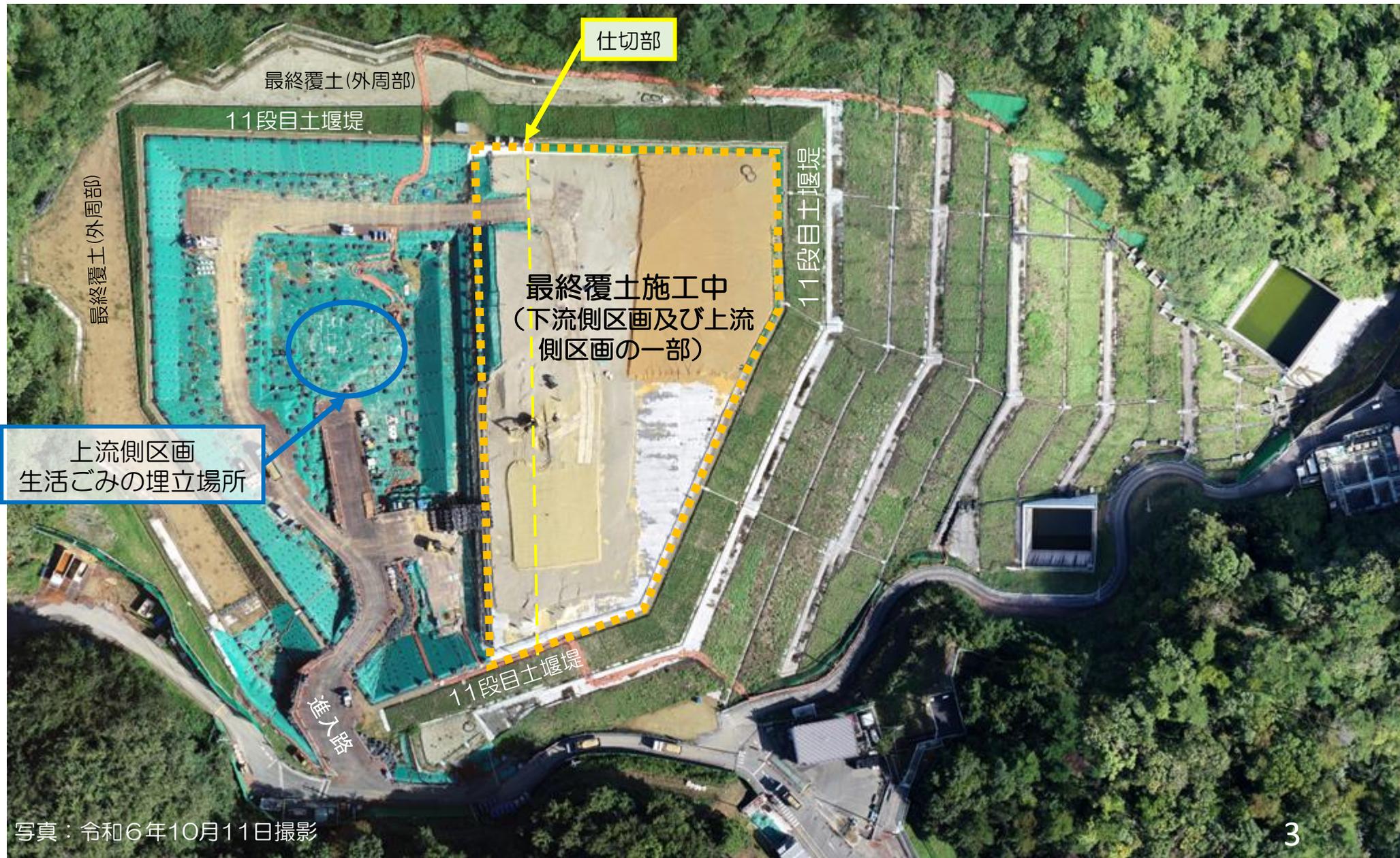
期間	特定廃棄物等の埋立							生活ごみの埋立	
	平成29年度 (11月～)	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 4月～10月	令和5年度 11月～3月	令和6年4月 ～9月末
実績 (台数)	2,196	9,635	10,123	10,586	10,815	11,599	6,500	58	77
累計	2,196	11,831	21,954	32,540	43,355	54,954	61,454	61,512	61,589

1. 特定廃棄物埋立処分施設の状況について

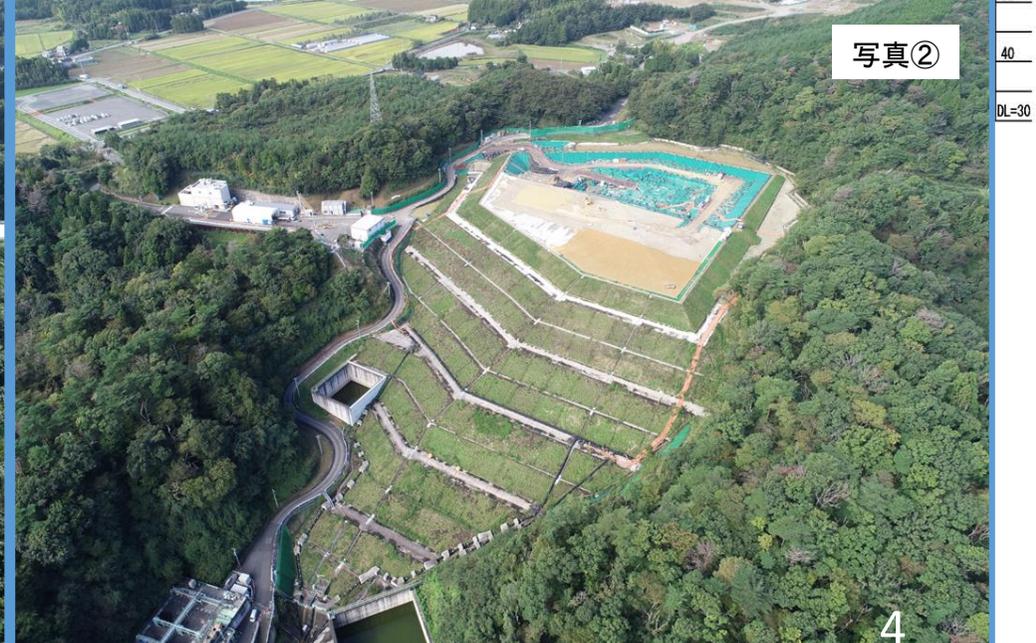
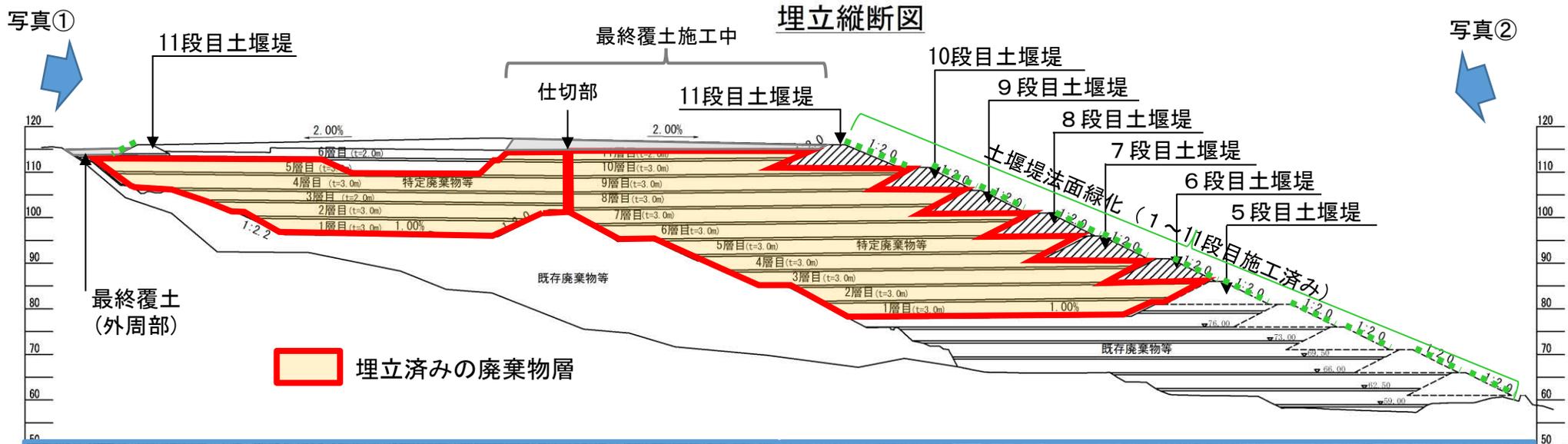
【参考】 特定廃棄物埋立処分施設の埋立実績と埋立計画



1. 特定廃棄物埋立処分施設の状況について



1. 特定廃棄物埋立処分事業の進捗について



写真：令和6年10月11日撮影

2. 生活ごみ（不燃物）の輸送・埋立処分等について

1. 生活ごみ（不燃物）の輸送

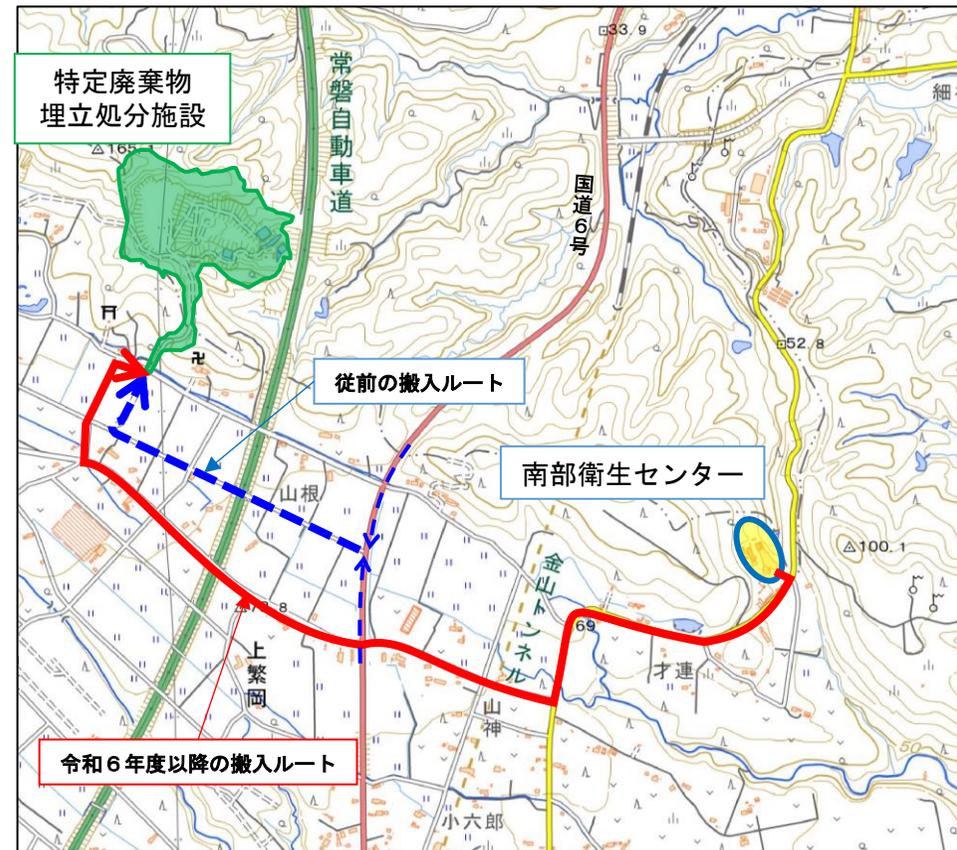
- 令和6年度以降は、南部衛生センター（楢葉町）から、双葉郡8町村の生活ごみ（不燃物）を輸送。
- 生活ごみ（不燃物）の輸送は、右図のルートにて、年間約300袋を輸送予定。
- 生活ごみ（不燃物）の輸送実績は以下のとおり。4t車1台あたり丸型フレキシブルコンテナ2～3袋を積載して輸送。

【輸送実績】

	輸送日数	輸送車両のべ台数	輸送袋数
4月	3日	17台	38袋
5月	3日	12台	24袋
6月	3日	12台	24袋
7月	3日	12台	24袋
8月	3日	12台	24袋
9月	3日	12台	24袋

- 運転手は通信機器を携行し、通常時の連絡に加え、緊急時の速やかな連絡体制を確保。
- 輸送車両には環境省マークを掲示して輸送を実施。

生活ごみ（不燃物）の輸送ルート

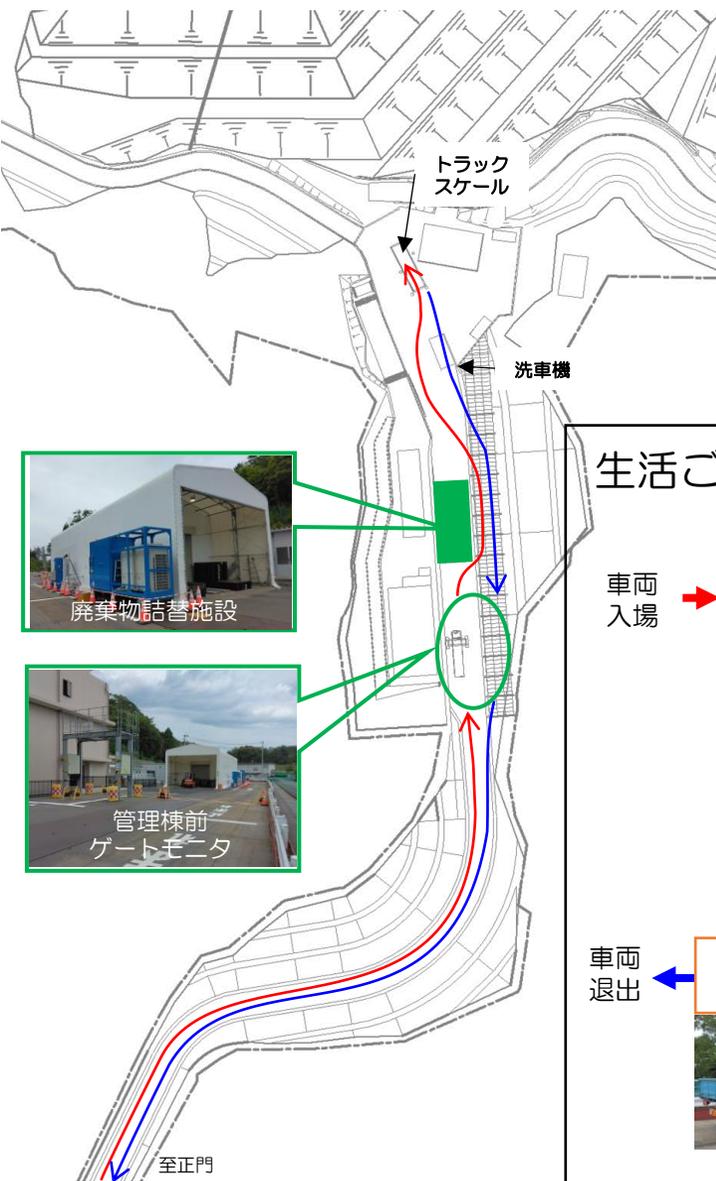


生活ごみ（不燃物）の輸送車両



2. 生活ごみ（不燃物）の輸送・埋立処分等について

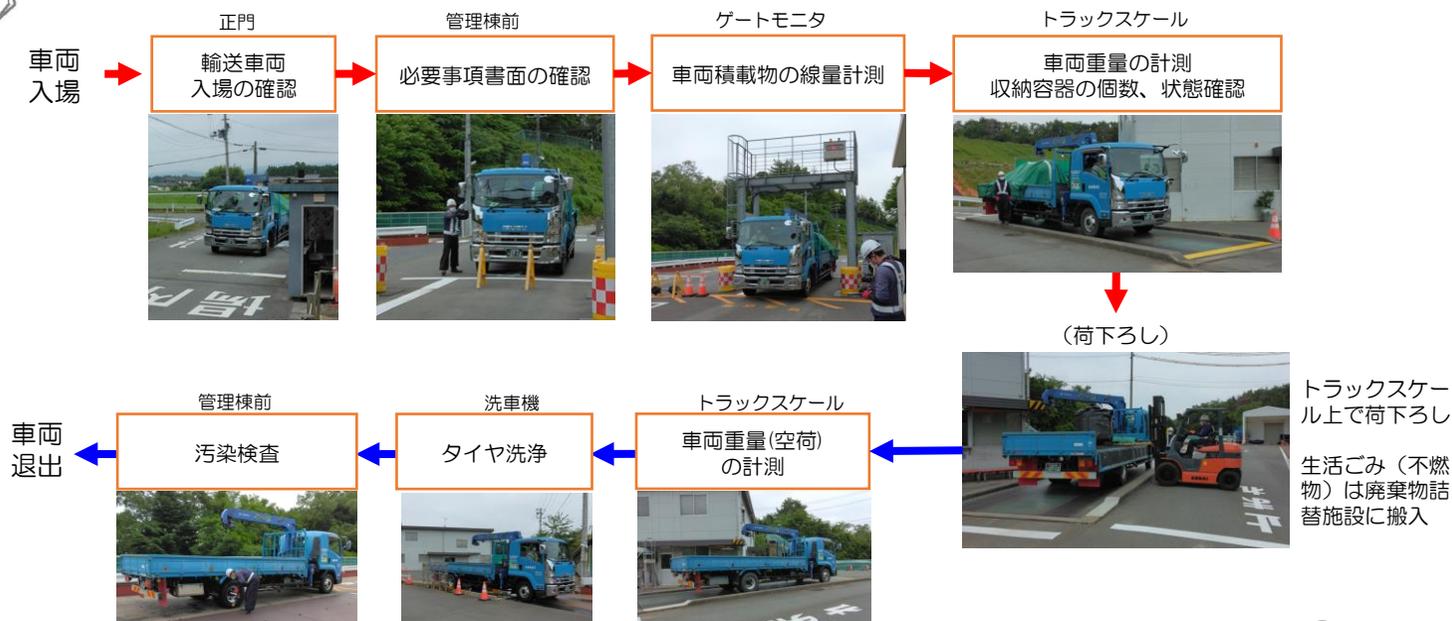
2. 生活ごみ（不燃物）の受入管理



○生活ごみ（不燃物）を対象に事前に放射能濃度を測定
令和6年4月の計測（NaIスペクトロメータで3検体測定）では、
Cs-137はいずれも10Bq/kg未満、Cs-134は不検出であった。

○ゲートモニタでの放射線量の計測
令和6年4月～9月までの計測では平均0.055 μ Sv/h(0.052～
0.061 μ Sv/h)であった。

生活ごみ（不燃物）の受入管理の流れ



トラックスケール上で荷下ろし
生活ごみ（不燃物）は廃棄物詰替施設に搬入

2. 生活ごみ（不燃物）の輸送・埋立処分等について

3. 地盤改良用収納容器への詰替

- 令和6年5月より、生活ごみ（不燃物）の詰替作業を開始。
- 1日あたりの詰替作業は、地盤改良用収納容器1～3袋。
- 詰替作業はテント施設の中で実施。テント外部への粉じん等の飛散は見られない。

【詰替作業の実績】

	詰替作業日数	詰替袋数 (地盤改良用収納容器の袋数)
5月	3日	5袋
6月	19日	51袋
7月	22日	44袋
8月	12日	22袋
9月	14日	21袋

【9月までの測定結果】

1袋あたりの重量 : 平均1.5 t 程度
 表面線量率 : 最大0.19 μ Sv/h
 表面汚染密度 : 最大0.3Bq/cm²

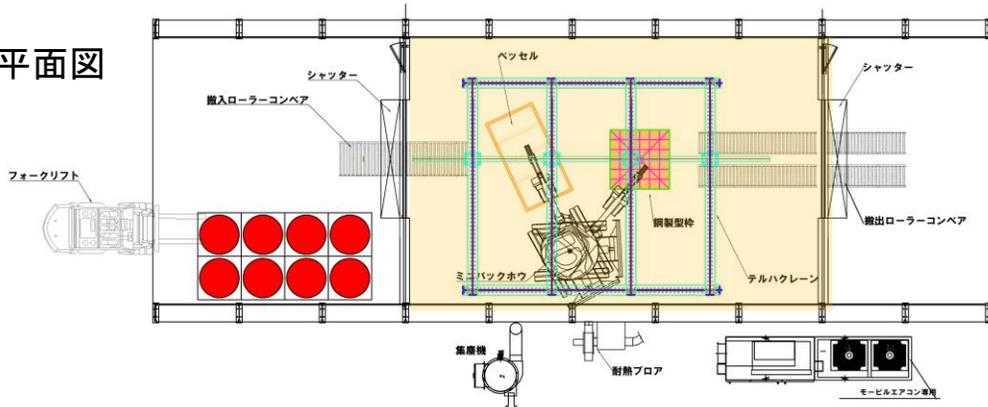
廃棄物詰替施設における生活ごみ（不燃物）詰替作業の流れ

丸型フレキシブルコンテナ

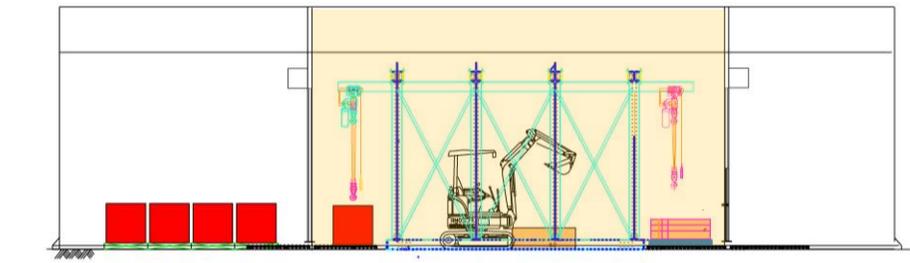


(場内仮置き)

平面図



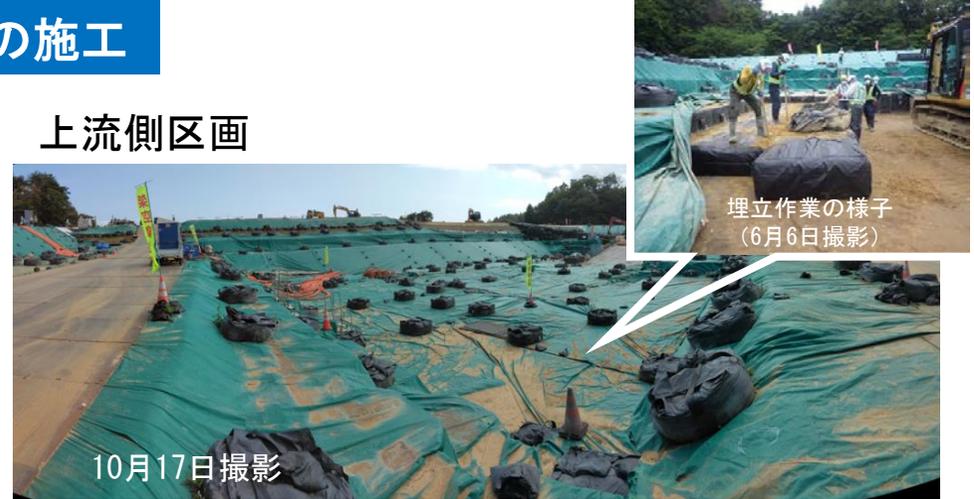
断面図



2. 生活ごみ（不燃物）の輸送・埋立処分等について

4. 生活ごみ（不燃物）の埋立処分、最終覆土の施工

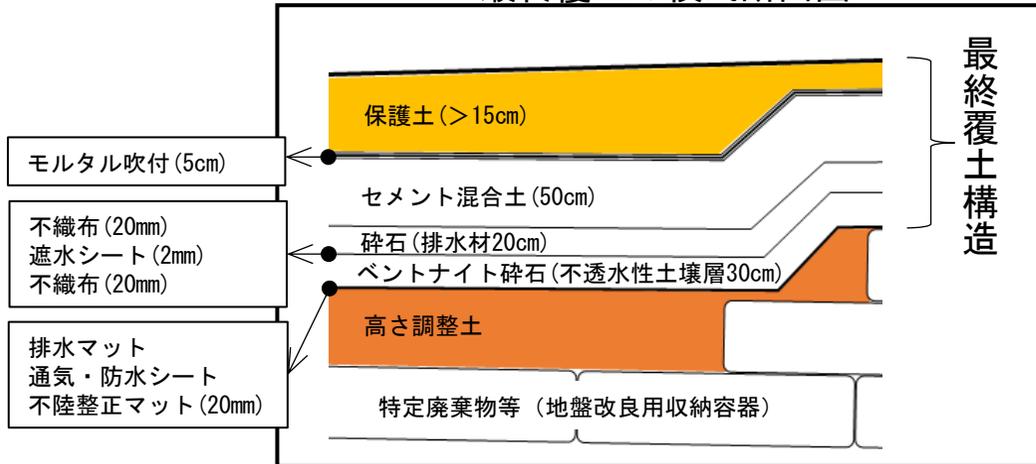
- 令和6年6月より、上流側区画において生活ごみ（不燃物）の埋立作業を開始。
- 埋立作業は、1か月に1～4日程度、地盤改良用収納容器10～15袋/日で実施。
- 下流側区画（上流側区画の一部を含む）では、最終覆土の施工を実施。現在、北側、南側ともに保護土の施工中。



【埋立作業の実績】

	埋立作業日数	埋立袋数
6月	3日	40袋
7月	4日	55袋
8月	1日	10袋
9月	3日	30袋

最終覆土の模式断面図



下流側区画（北側）保護土施工中



下流側区画（南側）保護土施工中



2. 生活ごみ（不燃物）の輸送・埋立処分等について

5. 維持管理の実施状況

- 特定廃棄物埋立期間の管理方法を基本に、維持管理を実施。
- 今後、埋立作業等の状況を踏まえて、維持管理の実施内容を検討・変更する。

【維持管理の実施状況】

項目		維持管理の主な実施内容（令和6年度の実施状況）	今後の変更内容等
埋立廃棄物の管理	搬出場所、輸送	生活ごみ（不燃物）の放射能濃度を定期的に調査し、放射能濃度8,000Bq/kg以下を確認	
		丸型フレキシブルコンテナに封入して輸送	
		輸送車両周囲の線量計測を実施（最初の輸送車両を対象に計測）	
		運転手は通信機器を携行し、通常時の連絡に加え、緊急時の速やかな連絡体制を確保	
	受入管理 埋立管理	ゲートモニタによる線量計測を実施	作業員による線量計測への変更を検討
		受入時、埋立時には収納容器の状態確認（目視）の実施	
		収納容器（丸型フレキシブルコンテナ及び詰替後の地盤改良用収納容器）ごとに重量、放射能濃度、表面線量率等データ管理を実施	
	収納容器に封入した状態で埋立		
放射線管理	埋立処分施設内に管理区域を設け、入退場管理、防護措置、退出車両検査等を実施	生活ごみ（不燃物）の埋立状況、最終覆土の施工状況を踏まえ、管理区域の解除等を検討	
施設の点検・管理	埋立処分施設	施設の点検・管理を定期的実施	
		土堰堤法面緑化の維持（夏枯れ対策等）	
		土堰堤の動態観測（月1回）、レーザースキャナ測量（年2回）、地震観測等を実施	令和7年度は、動態観測（年4回）、レーザースキャナ測量（年1回）、地震観測等を実施予定
	浸出水処理施設	排水基準を満足するよう維持管理を実施 長期稼働を想定し順次機器更新等を実施	
環境モニタリング	埋立処分施設の場内及び周辺環境のモニタリング調査を定期的実施	令和7年度以降、周辺環境のモニタリング調査について見直しを検討	

2. 生活ごみ（不燃物）の輸送・埋立処分等について

6. 作業員の被ばく線量管理

(1) 測定方法

○ 特定廃棄物埋立処分施設及び各保管場所での作業者は、ガラスバッジ線量計と電子ポケット線量計の2種類の線量計を併用して測定・記録している。

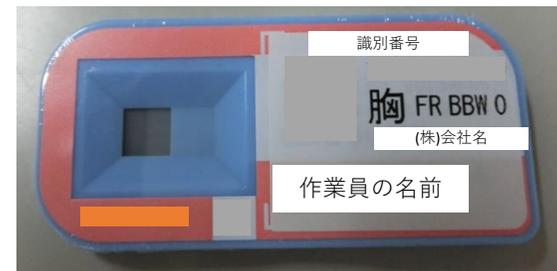
➤ ガラスバッジ線量計：1か月毎の線量を測定し、累積被ばく量を放射線管理手帳に記録
→放射線従事者中央登録センターへ登録

➤ 電子ポケット線量計：1日毎の線量を測定し、当月の被ばく量を把握

【被ばく線量の測定方法】

作業区分	被ばく線量の測定方法
埋立作業 (特定廃棄物 埋立処分施設)	ガラスバッジ線量計を携行し、1か月毎の被ばく線量を測定→放管手帳に記録し、中央登録センターへ登録
	電子ポケット線量計を携行し1日毎の被ばく線量を把握
収納容器の詰替 作業及び輸送車 両への積込作業 (各保管場所)	ガラスバッジ線量計を携行し、1か月毎の被ばく線量を測定→放管手帳に記録し、中央登録センターへ登録
	電子ポケット線量計を携行し1日毎の被ばく線量を把握

注) 令和6年度以降、被ばく線量の測定は埋立作業のみ
令和6年度以降開始した埋立処分施設内の詰替作業は埋立作業に含む



ガラスバッジ



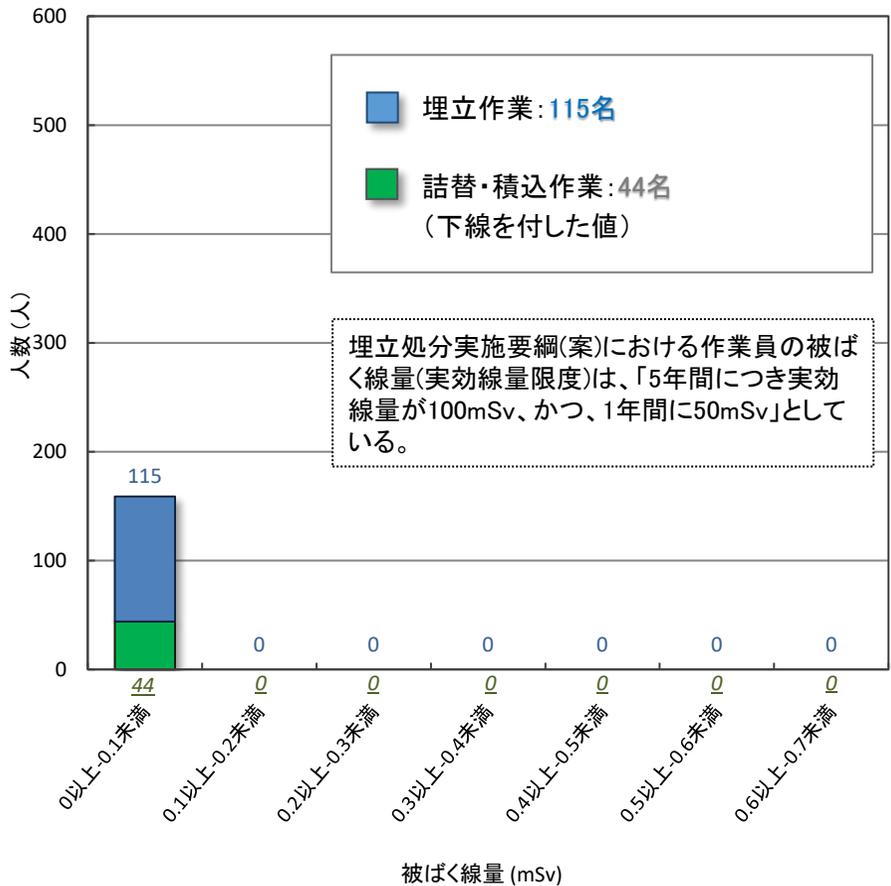
電子ポケット線量計

2. 生活ごみ（不燃物）の輸送・埋立処分等について

(2) 測定結果

① 埋立作業（埋立処分施設）、詰替・積込作業（各保管場所） （ガラスバッジ線量計による測定結果）

令和5年11月～令和6年9月の測定結果



平成29年11月～令和6年9月の測定結果

表中単位: 人

被ばく線量 区分 (mSv)	平成29年11月 ～平成30年10月		平成30年11月 ～令和元年10月		令和元年11月 ～令和2年10月		令和2年11月 ～令和3年10月		令和3年11月 ～令和4年10月		令和4年11月 ～令和5年10月		令和5年11月 ～令和6年9月	
	埋立 作業	詰替・ 積込作業	埋立 作業	詰替・ 積込作業	埋立 作業	詰替・ 積込作業	埋立 作業	詰替・ 積込作業	埋立 作業	詰替・ 積込作業	埋立 作業	詰替・ 積込作業	埋立 作業	詰替・ 積込作業
2.6以上-2.7未満														
2.5以上-2.6未満		1												
2.4以上-2.5未満														
2.3以上-2.4未満		1												
2.2以上-2.3未満		1												
2.1以上-2.2未満		1												
2.0以上-2.1未満		1												
1.9以上-2.0未満		2												
1.8以上-1.9未満		2												
1.7以上-1.8未満														
1.6以上-1.7未満														
1.5以上-1.6未満		1		1										
1.4以上-1.5未満		1												
1.3以上-1.4未満		3												
1.2以上-1.3未満		4												
1.1以上-1.2未満		1		1				1						
1.0以上-1.1未満		3		3										
0.9以上-1.0未満		2	1	4				1						
0.8以上-0.9未満		3	1	4				5				2		
0.7以上-0.8未満		18	3	6		1					2	2		
0.6以上-0.7未満		12	3	7				1		2	2			
0.5以上-0.6未満		16	4	8			1	2		1	4			
0.4以上-0.5未満	4	15	9	10	2	8	2	3		8	1	2		
0.3以上-0.4未満	4	24	5	24	1	7	4	6		2	3	3		
0.2以上-0.3未満	18	29	14	41	5	2	6	4		5	1	6		
0.1以上-0.2未満	24	69	9	79	10	19	8	12		9	5	22		
0以上-0.1未満	143	363	103	365	138	351	134	333	175	362	117	260	115	44

(注) 埋立開始時期を起点として集計した。
令和6年度以降、被ばく線量の測定は埋立作業のみであり、埋立処分施設内で実施する詰替作業は埋立作業に含む。